

平成29年度より、中沢小・旭中は、小中一貫教育をさらに充実することを目指し「併設型小学校・中学校」として新たなスタートをしました。学習指導要領の枠を柔軟に捉え、授業時数や教育内容を弾力的に扱うことが可能になります。学習、生活両面での9年間一貫した教育活動の実現を目指すとともに、その成果を発信していきます。

併設型小・中学校導入

旭中ブロック

成果の上がっている小中交流、地域の活動を大切にしながら、一小一中でのメリットを生かし、併設型小・中学校での小中一貫教育を実践します。

旭中・中沢小 学校教育目標

自主・創造・共生

〈旭中ブロック小中一貫教育推進目標〉

児童と生徒の理解をふまえた小中一貫カリキュラムの推進



【梅干し作り】

梅林を所有している地域の方のご厚意により、梅の採取から始まり、合計3日間かけての梅干し作りを毎年行っています。地域の指導者が中学生に指導し、小学生が活動するときには中学生が小学生を手伝います。生徒は普段見せない表情を見せてくれます。

旭中ブロックならではの活動を紹介します！

【児童生徒交流会】

一中一小だからこそできる、小中学生が全員参加で行う交流会です。全員で活動するために会場を小学校、中学校2か所に分け小学校で実施している縦割りを生かした班編成でレクリエーション活動を中心に小中学生の交流を深めています。

【小中合同授業研究会】

小中一貫した「共通授業コンセプト」と「児童・生徒指導のスタンダード」をもとに、授業の改善を通して子どもたちの学力向上と生活の安定を図っています。6月に小学校で、12月には中学校で授業を行い、意見交換を行います。

併設型小・中学校としての活動を紹介します！

【コミュニティスクールに向けて】

小中一貫カリキュラム・マネジメントの推進や地域との協働の推進を図り、防災を中心に地域の特性に合った教育を行えるようにします。そのために平成30年度は小中合同学校運営協議会を設立します。